

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.4.16 第 169 回国会第 12 号

4 月 16 日、第 12 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・冬柴国土交通大臣、平井国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

市 村 浩一郎君 (民主)

- ・関西、伊丹、神戸の 3 空港には棲み分けがあるが、3 空港とも国際、国内の垣根を払った活用が必要であるとの考え方について、大臣はどのような見解を持っているのか。
- ・伊丹空港を有効活用して、韓国、中国等との国際線化を図る必要性があるのではないか。
- ・J R 西日本福知山線列車脱線事故における事故調査報告書の分析が甘いと思われるが、どのように考えているのか。

吉 良 州 司君 (民主)

- ・道路等の公共工事について国際競争入札を行うことにより価格の低減効果が期待できると考える。国土交通省において、公共工事のコスト削減に向けた研究及び取組はどのような状況であるか。
- ・道路建設のみでなく維持補修や金融までを一体総合事業として入札にかけるとともに、個別箇所の実情とコスト削減に配慮した応札者からの道路構造についての構造提案を容認する等 P F I 的発想に立った入札改革

について大臣の所見を伺いたい。

- ・応札者が安価で品質のよい公共工事の提案を行えるようにするため、応札に要する費用の一部を補助するなどして、企業の競争力を高める機会を与える必要があるのではないか。

川 内 博 史君 (民主)

- ・予算委員会にて要請した、平成 18 年度に道路整備特別会計から支出している工事契約やその他の契約の金額と、これらの契約の金額上位 300 社への国土交通省出身者の再就職者数の調査結果について説明をお願いしたい。また、再就職の経緯について、企業の要請によるものであるかどうか調査を行う考えはあるか。
- ・東九州自動車道（椎田南～宇佐間）のルート選定の経緯について、現時点において検証する資料はないのか。地元住民による代替案についても一考すべきではないか。
- ・中期計画を新たに策定するにあたって、最新の需要推計や新たな費用便益分析マニュアルが用いられることになるのか。また、新たな費用便益分析マニュアル策定に関する企画競争に対してどのような応募の状況か。

2 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律案（内閣提出第 11 号）

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律案（内閣提出第 12 号）

- ・冬柴国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

小 里 泰 弘君 (自民)

- ・地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律案でいう重点区域は、例えば鹿児島県内ではどのようなところが想定されるのか。
- ・観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律案により、滞在型観光促進のため、地域のどのような取組を支援しようとしているのか。また、支援メニューは具体的にどのようなものがあるのか。

高 木 陽 介君 (公明)

- ・地域経済の活性化のため、大都市圏を訪れることの多い訪日外国人旅行者を、地方に誘導する取組が必要ではないか。
- ・法律により制度を作っても、地方公共団体や観光業者等の現場で取り組む当事者には、制度に対する知見が不足している。大臣がリーダーシップを発揮して現場への指

導、説明を徹底していくべきではないか。

小宮山 泰 子君（民主）

- ・歴史的建築物に係る優れた技術を残すことは大変重要であり、そのためには技術を生かす場が必要であると考えるが、大臣はどのように考えるか。
- ・国土交通省の「道路関係業務の執行のあり方改革本部」において解散の方針が決まった財団法人駐車場整備推進機構が管理している地下駐車場は、今後どのようなのか。

鷲 尾 英一郎君（民主）

- ・観光政策を進めるに当たっては、観光による地域活性化を考えることも大事だが、まずは訪日外国人のニーズを把握することが重要だと思う。これについて大臣はどのように考えるか。
- ・現在、外国人による犯罪が増加傾向にある。訪日外国人の増加策を進めて犯罪が増えては元も子もない。関係府省と連携して取り組んでいかなければならないと思うが、これについて大臣はどのように考えるか。